

イレブンアクション岡山5月企画



福島原発事故の内部被曝を考える

講師

Dr.郷地秀夫（東神戸診療所所長）

とき

2012年5月27日（日）13時30分～15時30分

ところ

勤労者福祉センター5階第3会議室

副題

～被爆者2000人を診察した医師の警鐘～

主催：イレブンアクション岡山実行委員会（事務局：岡山県労会議）

連絡先：岡山市北区春日町5-6 ☎086-221-0133

Fax086-221-3595 Mail: okakenro@mx1.tiki.ne.jp

講師の郷地先生は、1947年広島県加茂郡西条町（現東広島市）に生まれ、1973年に神戸大学医学部を卒業後、精神科、神経内科、リハビリテーション科、一般内科、緩和医療などに携わりながら、被爆者医療に取り組んでこられました。2003年から神戸健康共和国・東神戸診療所所長、兵庫県保険医協会副理事長をされています。「核戦争を防止する兵庫県医師の会」に創設時から参加して、現在は運営委員をされています。

東神戸診療所と東神戸病院の外来で、約250人の被爆者の主治医として日常健康管理を行われています。これまでに兵庫県下の2000人の被爆者と関わってこられました。